

「呼吸器内視鏡検査における経皮的血液ガス分圧測定の有用性の検討」について

2018年8月1日～2022年9月30日の間に、呼吸器内視鏡検査を受けられた患者さんへ

研究機関 獨協医科大学病院 呼吸器・アレルギー内科
研究責任者 呼吸器・アレルギー内科 教授 仁保 誠治
研究分担者 中村 祐介、矢澤那奈、安藤雄基、伊藤紘、内田信彦、九嶋祥友、正和明哲、
奥富泰明、奥富朋子、曾田紗世、横山達也、塩原太一、池田直哉、新井良、知
花和行、武政聡浩、清水泰生

このたび獨協医科大学病院呼吸器・アレルギー内科では、吸器内視鏡検査(気管支鏡、局所麻酔下胸腔鏡)を受けた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

1. 研究の目的 及び 意義

経皮的血液ガス測定を用いて呼吸器内視鏡検査における安全性呼吸器内視鏡検査(気管支鏡、局所麻酔下胸腔鏡)において、経皮的動脈ガス測定を行い、検査の安全性や、測定における有用性を評価することを目的としております。この検討を行うことで、より安全に呼吸器内視鏡検査が行えると考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2018年8月1日～2022年9月30日の間に獨協医科大学病院 呼吸器・アレルギー内科において、経皮的血液ガス測定を併用して呼吸器内視鏡検査(気管支鏡、局所麻酔下胸腔鏡)を受けられた方 220 名を研究対象とします。

2) 研究実施期間

本研究の実施許可日 ～ 2023年3月31日

(登録期間：本研究の実施許可日 ～ 2022年9月30日)

3) 研究方法

上記の研究対象者に対して、呼吸器内視鏡検査において経皮的血液ガス分圧測定を併用してモニターされた方を対象とします。測定結果を分析し、各患者さんの背景と検査中の SpO₂、tcPO₂、tcpCO₂ の変化について調べます。経皮的血液ガス分圧測定は通常診療で使用されており、その結果を解析させていただきます。

4) 使用する試料・情報

◇ 研究に使用する試料

本研究では試料は用いません。

◇ 研究に使用する情報

研究に使用する情報は、吸器内視鏡検査(気管支鏡、局所麻酔下胸腔鏡)における経皮的動脈ガス測定結果を使用いたします。また、カルテから以下の情報を抽出し使用いたします。

- 年齢、性別、家族歴、既往歴、診察所見、治療内容、採血や画像、呼吸機能の検査データ

5) 情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後5年間保存いたします。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、呼吸器・アレルギー内科のホームページおよび外来窓口にポスターを掲示してお知らせします。

6) 研究計画書の開示

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

7) 研究成果の取扱い

この研究の成果は、プライバシー保護に細心の注意を払った上で、学会や学術誌で発表する予定ですのでご理解ください。

8) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、2023年3月31日までに下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

獨協医科大学病院 呼吸器・アレルギー内科

研究責任者：仁保誠治

研究分担者：中村祐介

電話：0282-87-2151（平日：9時～17時）

9) 外部への情報の提供

当科の単独研究であり、外部機関への情報提供はございません。

10) 研究組織

当科のみで研究を行います。